

デイサービスセンターひまわり運営規程

(指定 1 日型デイサービス)

(事業の目的)

第1条 広島医療生活協同組合が開設するデイサービスセンターひまわり（以下「事業所」という。）が行なう指定 1 日型デイサービス事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の生活相談員、看護職員、機能訓練指導員及び介護職員（以下「生活相談員等」という。）が、要支援状態等にある高齢者又は事業対象者に対し、適正な指定 1 日型デイサービス提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 1、指定 1 日型デイサービスにあつては、その利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。

2、事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、地域包括支援センター、他のサービス事業者、地域の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

3、前 2 項のほか、「広島市介護予防・日常生活支援総合事業の指定事業者の基準に関する要綱」に定める内容を遵守し、事業を実施するものとする。

(事業所の所在地)

第3条 事業所を行なう事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名 称 デイサービスセンターひまわり
- (2) 所在地 広島市安佐南区西原九丁目 8 番 2 2 号

(従業員の職種、員数及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する従業員の職種、員数及び職務内容は次のとおりとする。

- (1) 管理者 1 名（常勤兼務）
管理者は事業所に勤務する従業員の職種、員数及び業務の管理を一元的に行なう。
- (2) 生活相談員 2 名（常勤兼務 2 名）
生活相談員は、事業所に対する指定 1 日型デイサービスの利用の申し込みに係る調整、利用者の生活の向上を図るための適切な相談・援助等を行い、また他の従業員と協力して 1 日型デイサービス計画の作成等を行う。
- (3) 看護職員 2 名（非常勤専従 2 名）
利用者の健康状態のチェック、保健衛生上の指導や看護を行う。
- (4) 介護職員 7 名（常勤専従 1 名 常勤兼務 1 名 非常勤専従 4 名
非常勤兼務 1 名）
1 日型デイサービス計画に基づき、必要な日常生活上の支援及び介護、機能訓練を行う。
- (5) 機能訓練指導員 2 名（非常勤専従 1 名 非常勤兼務 1 名）
日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための機能訓練、訓練指導及び助言を行う。
- (6) 運転手 1 名（非常勤）
送迎を行う。

(事業所の営業日および営業時間)

第5条 事業所の営業日および営業時間は次のとおりとする。

- (1) 営業日 月曜日から土曜日までとする。
但し、12月31日から1月3日までは除く。
- (2) 営業時間 午前 8 時 30 分から午後 5 時 00 分までとする。
- (3) サービス提供時間 午前 9 時 15 分から午後 4 時 30 分までとする。

(1 日型デイサービスの利用定員)

第6条 事業所の利用定員は、35 名とする。

(1 日型デイサービスの内容)

第7条 指定 1 日型デイサービスの内容は、次のとおりとする。

- (1) 生活指導、相談援助
- (2) 健康チェック
- (3) 機能訓練
- (4) 食事の提供
- (5) 入浴介助
- (6) 送迎

(利用料その他の費用の額)

第8条 1、指定 1 日型デイサービスを提供した場合の利用料の額は、市長が定める基準によるものとし、当該指定 1 日型デイサービスが法定代理受領サービスである時は、利用料のうち各利用者の負担割合に応じた額の支払いを受けるものとする。

2、前項に定めるもののほか、その他の費用として利用者から次の費用の支払を受けるものとする。

- (1) 通常事業の実施地域以外の地域に居住する利用者に対して送迎を行なう場合は、実施地域を越えた地点から路程 1 キロメートル当り 20 円を実費として徴収する。
- (2) 食事・おやつ代 1 日あたり 700 円 おやつ 50 円
- (3) 前各号に掲げるもののほか、指定 1 日型デイサービスの提供において提供される便宜のうち、日常生活においても通常必要となるものに係る費用であって、その利用者に負担させることが適当と認められる費用 実費

3、前項の費用の支払を受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文章で説明をした上で、支払に同意する旨の文書に署名又は記名押印を受ける事とする。

(通常の事業の実施地域)

第9条 通常の事業の実施地域は、安佐南区、とする。但し伴西・伴東・伴南・伴北・沼田町大塚西・沼田町大塚東・沼田町大字阿戸・沼田町大字大塚・沼田町大字伴・沼田町大字吉山を除く。

(衛生管理等)

第10条 1、事業所は利用者の使用する施設、食器その他の設備又は飲用に供する水について、衛生的な管理に努めるとともに、衛生上必要な措置を講じるものとする。

2、事業所において感染症が発生し、又はまん延しないように必要な措置を講じるとともに、必要に応じ保健所の助言、指導を求めるものとする。

(サービス利用にあたっての留意事項)

第11条 利用者は、サービス提供を受ける際には医師の診断や日常生活上の留意事項、利用当日の健康状態を従業者と確認し、心身の状況に応じた適切なサービスを受けることができるよう留意するものとする。

(緊急時等における対応方法)

第12条 1、指定 1 日型デイサービスの提供を行っているときに利用者に病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医に連絡する等の措置を講ずるとともに、管理者に報告しなければならない。なお、主治医への連絡が困難な場合は、緊急搬送等の必要な措置を講ずるものとする。

2、利用者に対する指定 1 日型デイサービスの提供により事故が発生した場合は、市町村、当該利用者の家族、当該利用者に係る地域包括支援センター等に連絡するとともに、必要な措置を講ずるものとする。

3、利用者に対する指定 1 日型デイサービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行うものとする。

（非常災害対策）

第13条 事業者は、非常災害に関する具体的計画を立て、非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを定期的に従業員へ周知するとともに、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行うものとする。

（苦情及び相談に対する体制）

第14条 1、事業者は、指定1日型デイサービスの提供に係る利用者及びその家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、必要な措置を講じるものとする。
2、事業者は、提供した指定1日型デイサービスに関し、市町村が行う文書その他の物件の提出若しくは提示の求め又は当該市町村の職員からの質問若しくは照会に応じ、及び利用者からの苦情に関して市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合においては、当該指導又は助言に従って必要な改善を行うものとする。

（利用者の虐待の防止のための措置）

第15条 1、事業所は、利用者の人権の擁護・虐待等の防止のため次の措置を講ずるものとする。
（1）虐待を防止するための従業員に対する研修の実施
（2）利用者及びその家族からの苦情処理体制の整備
（3）その他虐待防止のために必要な措置
2、事業所は、サービス提供中に、当該事業所従業員又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

（その他運営に関する重要事項）

第16条 1、事業所は、従業員の資質向上を図るため、研修の機会を次のとおり設けるものとし、また、業務体制を整備する。
（1）採用時研修 採用後1カ月以内
（2）継続研修 年2回
2、従業員は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
3、従業員であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業員でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業員との雇用契約の内容とする。
4、事業所は、指定1日型デイサービスに関する諸記録を整備し、その完結の日から2年間（第1号事業支給費の請求の根拠となる記録については5年間）保存するものとする。
5、この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は広島医療生活協同組合と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

付 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

令和2年5月19日	一部改定
令和3年4月1日	一部改定
令和4年11月1日	一部改定
令和5年8月14日	一部改定